

《担当者名》冨家 直明

【概要】

学校現場で生じている諸課題を概観するとともに、将来の公認心理師に必要とされるさまざまな臨床心理学、学校心理学、教育心理学、関連行政法に関する知識や技術を身につけることを目的とし、講義だけでなく、主体的で対話的な学びを实践する。

【学修目標】

教育関連分野について公認心理師国家試験に出題される問題の傾向と対策を理解する。
 教育課題とその解決方法について理解を深める。
 教育相談に活かす実践的なスキルを体験する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	教育・学校心理学の意義	学校教育制度の概観 教育・学校心理学の概観	冨家 直明
2	子供の発達課題への取り組みの理解と援助	発達の理論やアセスメントのおさらい	冨家 直明
3	子供の教育課題への取り組みの援助	教育課題の概観 教師のメンタルヘルス	冨家 直明
4	スクールカウンセリングの枠組み～何を援助するか	スクールカウンセリング制度とスクールカウンセラーの仕事	冨家 直明
5	子供の多様な援助者とチーム学校	チーム学校	冨家 直明
6	心理教育的援助サービスのあり方	3段階の援助サービス論	冨家 直明
7	発達障害の理解と援助	発達障害とその対応方法	冨家 直明
8	不登校の理解と援助	不登校の実態と対応	冨家 直明
9	いじめの理解と援助	いじめの実態と対応	冨家 直明
10	非行の理解と非行をする子供の援助	少年非行の実態と対応	冨家 直明
11	学校における危機対応	学校におけるさまざまな危機対応	冨家 直明
12	学級づくりの援助	学級経営、学級づくりの概要	冨家 直明
13	学校づくりの援助	学校経営、学校づくりの概要	冨家 直明
14	地域ネットワークづくりの援助	コミュニティアプローチの理論と方法	冨家 直明
15	教育・学校心理学と公認心理師の実践	公認心理師に期待されること	冨家 直明

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用
 授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

レポート（100%）

【教科書】

教育・学校心理学 石隈利紀編 遠見書房

【参考書】

誠信心理学辞典（誠信書房）

【学修の準備】

検索や資料の閲覧などの宿題を出すので、授業時間外に行うこと（90分）
 事前に次回の授業単元について予習をしてくること（90分）

【ディプロマポリシーとの関連】

心の問題にかかわる職業人として必要な幅広い教養と専門的知識を修得するという、心理科学部のディプロマ・ポリシーに適合している。

【実務経験】

公認心理師・スクールカウンセラー

【実務経験を活かした教育内容】

公認心理師としてスクールカウンセラー等の実務経験を有しており、それらを反映させた授業を行う。